

山と電気の風景論 ⑳

はやちね
早池峰山, 岩手山, 八幡平～東北・岩手の屋台骨～

セリングビジョン(株) 代表取締役 岡部 秀也

本号は、前号に続く東北エリアの百名山を特集したい。岩手県中心に南から秋田県境に向かう早池峰、岩手山、八幡平の三座である。

水力発電所の宝庫・北上水系に沿った三座

岩手県は北海道に次ぐ広さがあり、東北地方の大動脈である山脈に沿って新幹線、東北道も延伸している。山の渓谷や平原には電源が豊富である。特に北上川水系は15もの水力発電所があり八幡平付近のダムや早池峰ダムもある。三山の麓と北上川水系は、東北電力などの水力発電所があちこちで稼働している。最近、再生可能エネルギーのブームに沿って、大型の風力発電所なども二戸付近にできている。最近は波力発電の実験の話も久慈であった。

筆者は、親戚が岩手の久慈や盛岡に住んでいるため、一年に一回は岩手には遠出しており、地理的には詳しくなり、また岩手出身者の電力仲間とも親しくさせていただいている。

個性的な三山との出会いと印象

まず早池峰山。東北で鳥海、岩手、月山に次ぐ高峰だが、全国的には無名に近い。主要駅から遥か遠くで北上山地は見えにくいからかも知れない。しかし由緒ある信仰山岳であり、お花畑、特にウスユキソウ目当ての登山者は多い。

「遠野物語」には「西方の山々の中に最も秀でたる山を早池峰と言う。北の方、附馬牛の奥に在り」とある。早池峰には高原の女神伝説や、大坊主に騙された話も伝わる。遠野市、花巻市、宮古市と岩手県が伝統を守り、自然保護に関わっている。

7月上旬のまだ梅雨時



巨岩に根付く早池峰ウスユキソウ



頂上のシンボル早池峰神社は厳肅だ

に出かけた。案の定、小雨で頂上はガスって寒いくらいだったが、沢登りから霧田気は霊験あらたかであった。尾根道に出ると高山植物がカラフルだ。欧州アルプスのエーデルワイスに最も近い特産「ウスユキソウ」も、巨岩群の中に根を張っていた。頂上では巨岩の早池峰神社のご神体を参拝した。霜が降り神秘的な風情があり、死んだ者はこの山に皆還るものと伝えられている。

次に岩手山。岩手山は盛岡駅から20kmの距離であるが、車窓から巨魁の山岳を一度見たら忘れられない山ではないか。「岩手県が生んだ幾多の人材、それらの精神の上に岩手山が投影され、雄偉にして重厚、東北人の土性骨を象徴するような山」(深田久弥)との表現は、なるほどと思う。登山を通して、多くの地元の登山客と話し、汗をかいて自ら登頂した後だから納得できる気がする。登ってみて初めてタフで辛抱強さが試される信仰深い修験山と感じた。

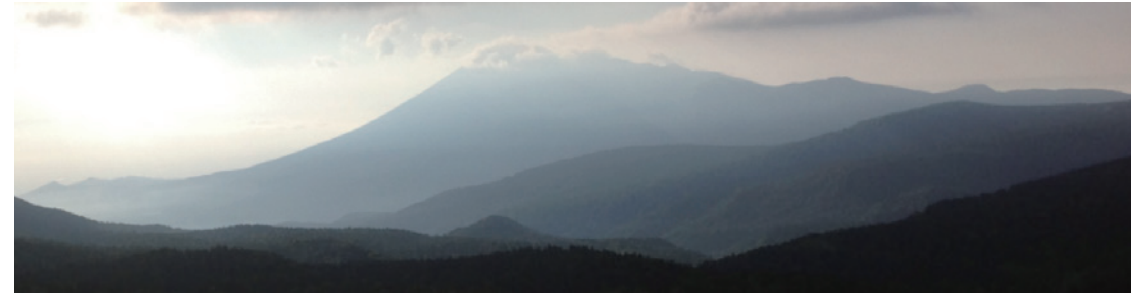
岩手山は南部富士と呼ばれ、独立峰であるが方向により見える形が変容する。有史以来5回の火山爆発の跡が複雑に残り、南西部に広々とコニーデ型の裾野が広がる。盛岡の自然風景は、北上川から臨む巨大な岩手山が異彩を放っている。川の反対には洪民のなだらかな姫神山が見え、岩手山の「男山」と対比できる。岳友の島矢氏と一緒に登頂後、盛岡で山談



噴火口を見て、火山石・灰を踏みしめ頂上へ



快晴、強風のなか、頂上にて。地元学生らも大勢



八幡平から遥かに望む岩手山の山容

義をした。登山日には、木曾の御嶽山が噴火して犠牲者が出たことをテレビで知った。同じ登山を志す者として深く黙とうをした。

最後は、八幡平。きつい岩手山を登った翌日、軽くトレッキングするには適した山だった。ここは東北有数の高地にある豪雪地帯であるが、初夏から秋にかけ湿原地帯に広がる穏やかな山肌、沼が現れ花歩きが楽しめる。剣ヶ峰のようなエッジはないため子供からお年寄りまで歩きやすい。車で頂上直下まで入れて、歩きやすく観光地化している。レストハウスから歩いて40分で三角点の頂上に着き証拠記念撮影をし、帰路は、めがね沼、鏡沼を覗きこみつパークサービスセンターに戻り、地形や動植物の展示を見いった。

紅葉が素晴らしく、透き通った池も、色とりどりの高山植物も森林のなかで鮮やかだった。

八幡平とは安比、茶臼など高原状の山地をすべて八幡平と呼ぶ。その意味では、今回はほんの一部を歩いただけだ。平原の絶景、ひなびた温泉、樹林浴とも安全・安心して楽しめる楽園地帯が多いだけに、次回は源太森～茶臼岳～松尾鉱山の縦走コースを辿りたい。

早池峰山〈標高1917m〉 平成27年7月4日(土)

往復距離6.2km、登山口～頂上4時間40分、標高差861m。河原の坊コースから小田越コースへの周回(現在は、河原の坊コースは土砂崩れで閉鎖中)。

- 7:10 盛岡駅からシャトルバス。
- 8:48 河原の坊着。
- 9:00 発。川沿いに歩む。小雨でガスってきた。



八幡平山頂。展望台はリニューアル中

- 10:25 御座走り。
- 10:45 千丈ヶ岩(休憩)、お花畑を満喫。
- 11:35～11:55 早池峰山頂上。
- 12:08 剣ヶ峰分岐。
- 12:20 御金蔵。
- 13:10 小田越。
- 13:40 河原の坊着。早池峰総合休憩所で当地の歴史、文化、動植物の展示を視察。
- 15:18 シャトルバス
- 16:55 盛岡着。

岩手山〈標高2038m〉 平成26年9月27日(土)

往復距離10.5km、往復5時間46分、標高差1428m。馬返しコースをピストン。盛岡駅で岳友・島矢氏と8時半に集合しマイカー利用。

- 9:52 登山口発。鬼又清水飲む。
- 10:13 1合目(新旧道分岐)太陽遮蔽する森の新道を選択。
- 11:00～11:20 4合目休憩。
- 11:45 6合目。
- 12:10～12:25 避難小屋、おにぎりランチ。
- 12:42 8合目不動平にて強風で帽子吹き飛ばす。
- 13:10～13:20 頂上。
- 13:42 避難小屋。鬼又清水でストックなど洗う。
- 15:38 登山口

八幡平〈標高1613m〉 平成26年9月28日(日)

往復距離1.2km、登山口～頂上1時間、標高差70m。八幡平レストハウスから八幡平頂上を往復。

- 5:45 盛岡の宿発。
- 7:00 八幡平駐車場着。
- 7:10 登山口。
- 7:40～7:50 頂上写真。めがね池、鏡池を回遊。
- 8:10 登山口着。

その後10:10、陸中海岸。朝ドラ「アマちゃん」で一躍著名になった久慈溪流の水力をながめつつ、高齢の義母を見舞いにかがった。